

ULVAC

株式会社 アルバック

# 決算説明資料

2021年度 第2四半期 2021年7月~2021年12月

---

2022年2月15日

証券コード：6728

Breakthrough 2022

## 将来見通しに関する記述についての注意事項

本資料に記載の業績見通しならびに将来予測は、現在入手可能な情報に基づき作成されたものです。

世界経済情勢、半導体・電子部品・FPD・原材料などの市況、設備投資の動向、急速な技術革新への対応、為替レートの変動など様々な要因により、実際の業績・成果等はこれらの見通し・将来予測と大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

## 1. 21年度上期 連結業績概要

### 受注高・売上高・営業利益は前年同期比大幅増加

- ・ 営業利益率：10.8%に改善（前年同期比+3.8pt）
- ・ 売上総利益率(第2四半期)：32.4% ⇒モノづくり力強化等により上場来最高水準
- ・ 通期受注高2,450億円（計画比+150億円）に見直し

	上期実績	前年同期比	計画比
□受注高	1,446億円	+536億円 <b>+59%</b>	+376億円 +35%
□売上高	1,057億円	+218億円 <b>+26%</b>	+97億円 +10%
□営業利益	114億円	+56億円 <b>+95%</b>	+24億円 +27%

## 2. アルバックを取り巻く環境

### 半導体・電子・FPD投資市場は中長期的に拡大継続

- ・ 上期受注は好調（前年同期比：半導体1.7倍、電子1.2倍、FPD2.4倍）

## 3. 中期経営計画の進捗：順調

- ・ 開発力強化・成長事業強化 ⇒半導体・電子・FPDの受注増加
- ・ モノづくり力強化により利益率改善



# 2021年度上期 連結業績概要

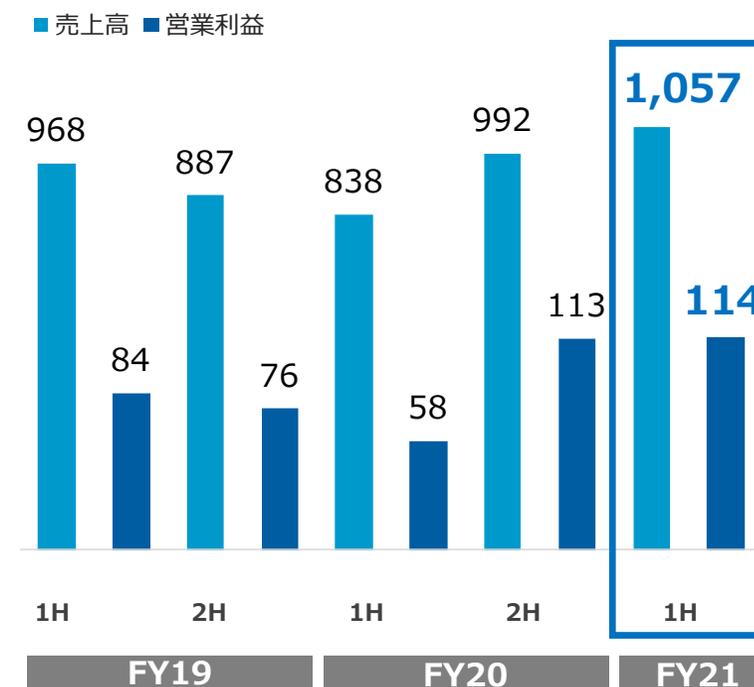
# 1. 2021年度上期業績概要

- 受注高：半導体・電子投資拡大等により、前年同期比**59%増**
- 売上高：前年同期比**26%増**、営業利益：前年同期比**95%増**
- 営業利益率：10.8%（前年同期比+3.8pt）に改善（下期は更に改善見込み）

【単位：億円】	2020年度 上期	2021年度 上期				
	実績	計画	実績	前年同期比	計画比	
受注高	910	1,070	<b>1,446</b>	+536	<b>+59%</b>	+376
売上高	838	960	<b>1,057</b>	+218	<b>+26%</b>	+97
売上総利益	233	-	<b>321</b>	+88	<b>+38%</b>	-
率	27.8%	-	<b>30.4%</b>	-	<b>+2.6pt</b>	-
販管費	175	-	<b>207</b>	+32	-	-
営業利益	58	90	<b>114</b>	+56	<b>+95%</b>	+24
率	7.0%	9.4%	<b>10.8%</b>	-	<b>+3.8pt</b>	+1.4pt
経常利益	60	90	<b>120</b>	+60	<b>+100%</b>	+30
率	7.2%	9.4%	<b>11.4%</b>	-	<b>+4.2pt</b>	2.0pt
親会社株主に帰属する 四半期純利益	45	65	<b>81</b>	+36	<b>+79%</b>	+16
率	5.4%	6.8%	<b>7.7%</b>	-	<b>+2.3pt</b>	+0.9pt

## 売上高と営業利益の推移

【単位：億円】

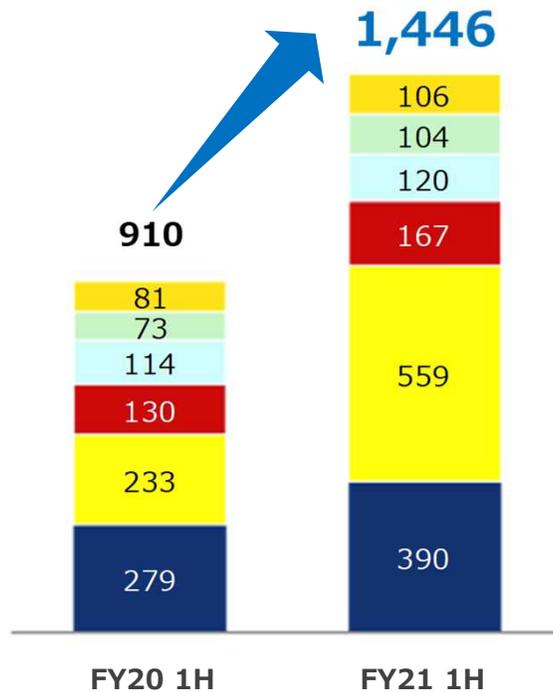


# 1-(1) 品目別受注高・売上高：投資活発化により大幅増加

- 半導体・電子・FPDの投資活発化により、前年同期比大幅増加

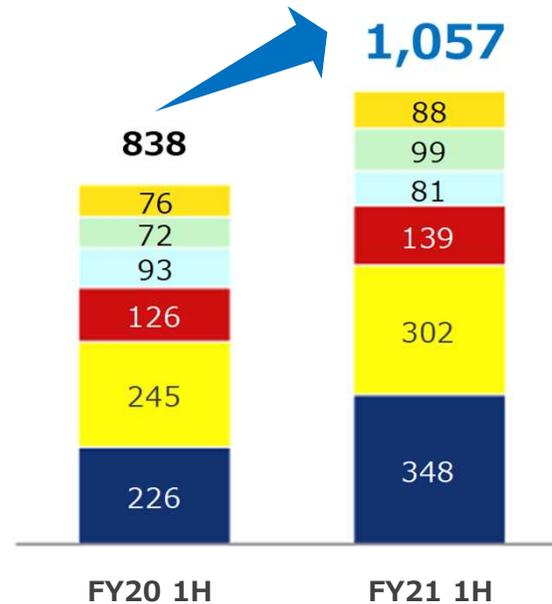
## 受注高 【単位：億円】

■ 半導体及び電子部品製造装置    ■ コンポーネント    ■ 材料  
■ FPD製造装置    ■ 一般産業用装置    ■ その他



## 売上高 【単位：億円】

■ 半導体及び電子部品製造装置    ■ コンポーネント    ■ 材料  
■ FPD製造装置    ■ 一般産業用装置    ■ その他



## 受注高

- **半導体**：ロジック・メモリともに投資活発化、前年同期比**1.7倍**
- **電子**：パワーデバイス・各種電子デバイス等中心に増加、前年同期比**1.2倍**
- **FPD**：前倒し発注（約200億円）により、通期計画の8割超を上期受注（前年同期比**2.4倍**）

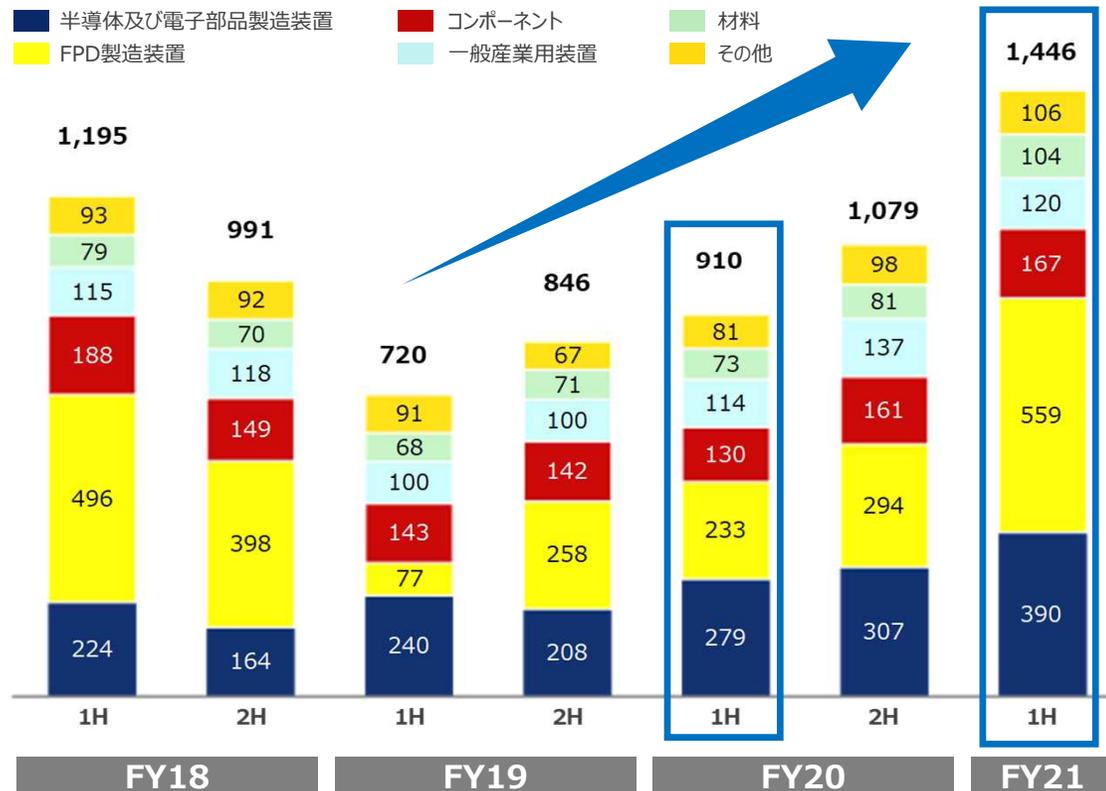
## 売上高

- 半導体・電子・FPD中心に前年同期比増加（部品長納期化の影響で売上貢献にタイムラグ）

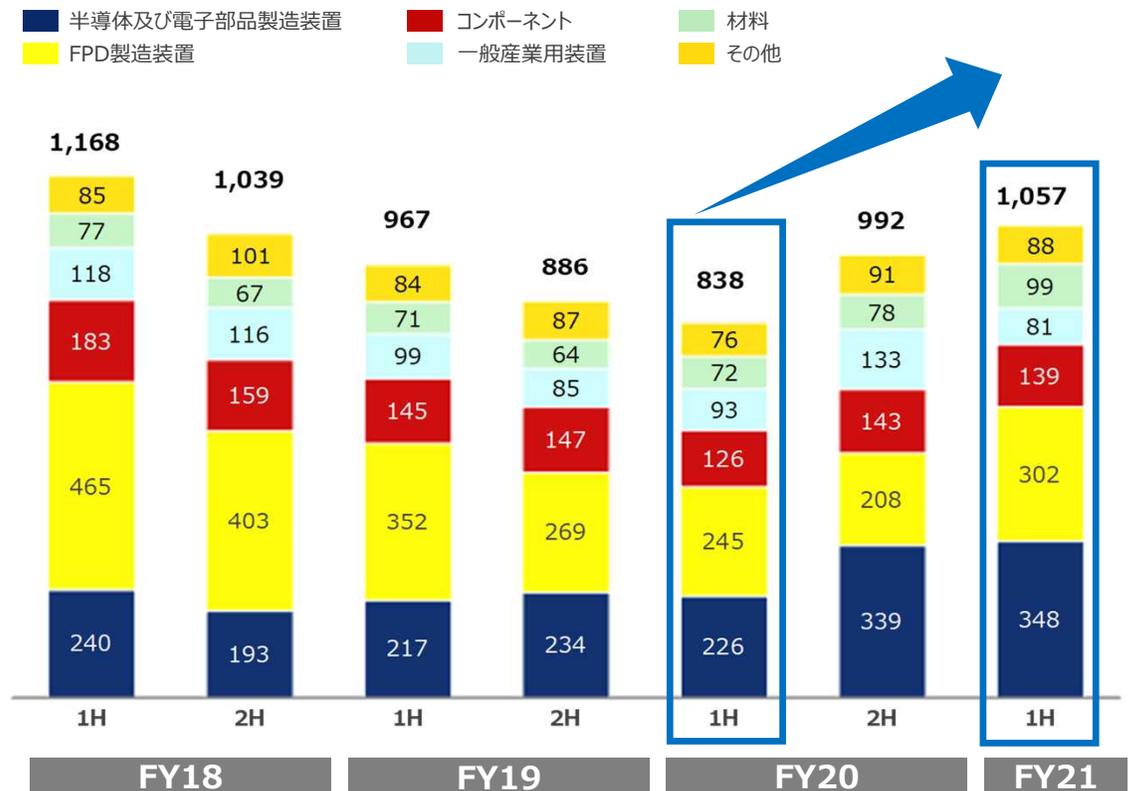
# 1-(2) 品目別受注高・売上高推移：半導体・電子は計画を上回る成長

- 半導体・電子：中期経営計画を上回る成長
- FPD：LCD投資増で上期大幅増加
- 受注残高増加により来期以降の売上に貢献

受注高 【単位：億円】



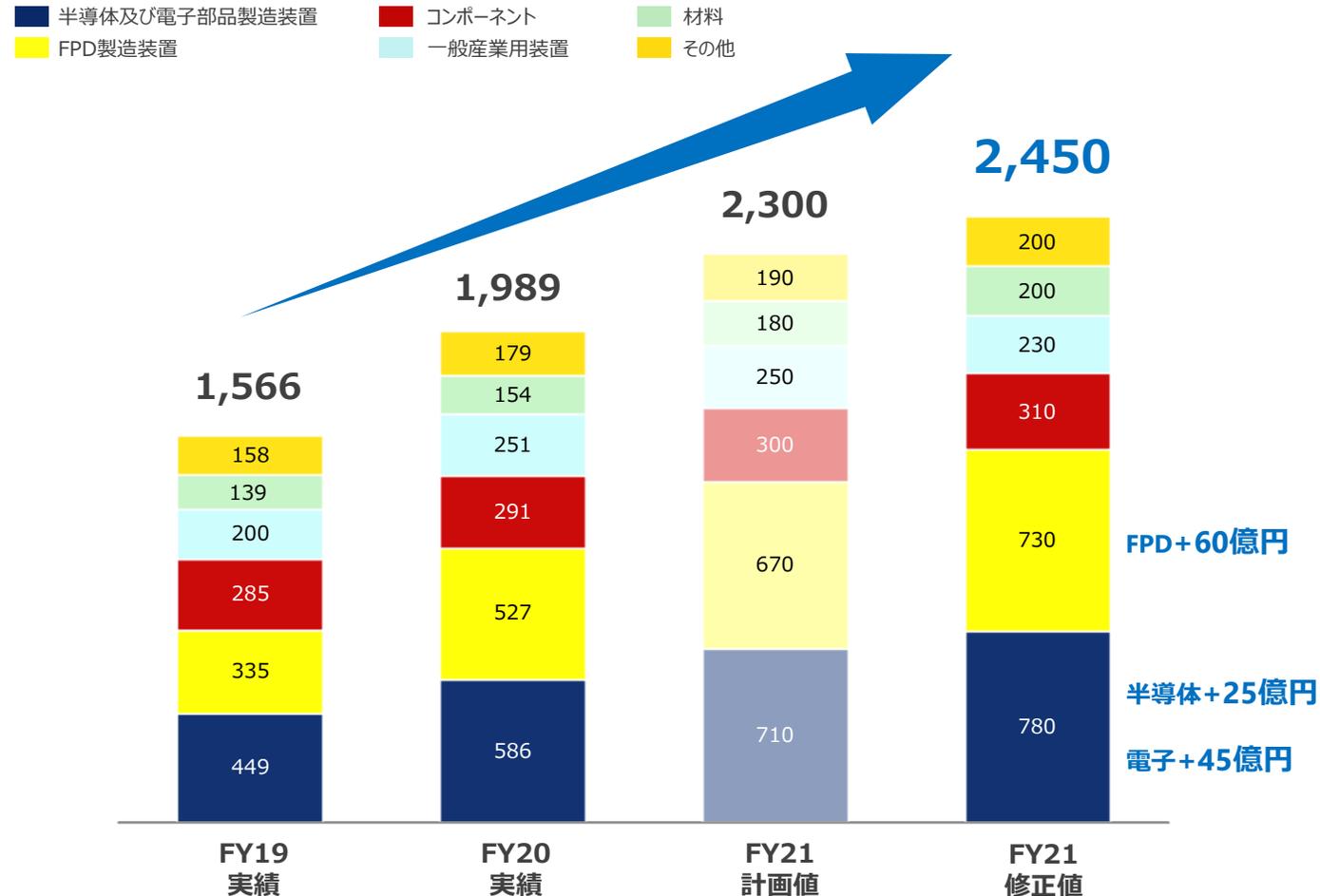
売上高 【単位：億円】



## 2. 通期受注計画見直し：2,450億円（+150億円）に見直し

- 半導体・電子・FPDの投資活発化により通期受注計画を2,300億円から2,450億円（+150億円）に見直す
- 半導体・電子を中心に更なる成長を目指す（来期計画は8月に開示予定）

【単位：億円】



半導体：前年同期比**1.5倍**

- **ロジック**（前年同期比**2.2倍**）・**メモリ**（前年同期比**1.3倍**）投資活発化

電子：前年同期比**1.2倍**

- **パワーデバイス**（前年同期比**1.5倍**）・**中国投資活発化**

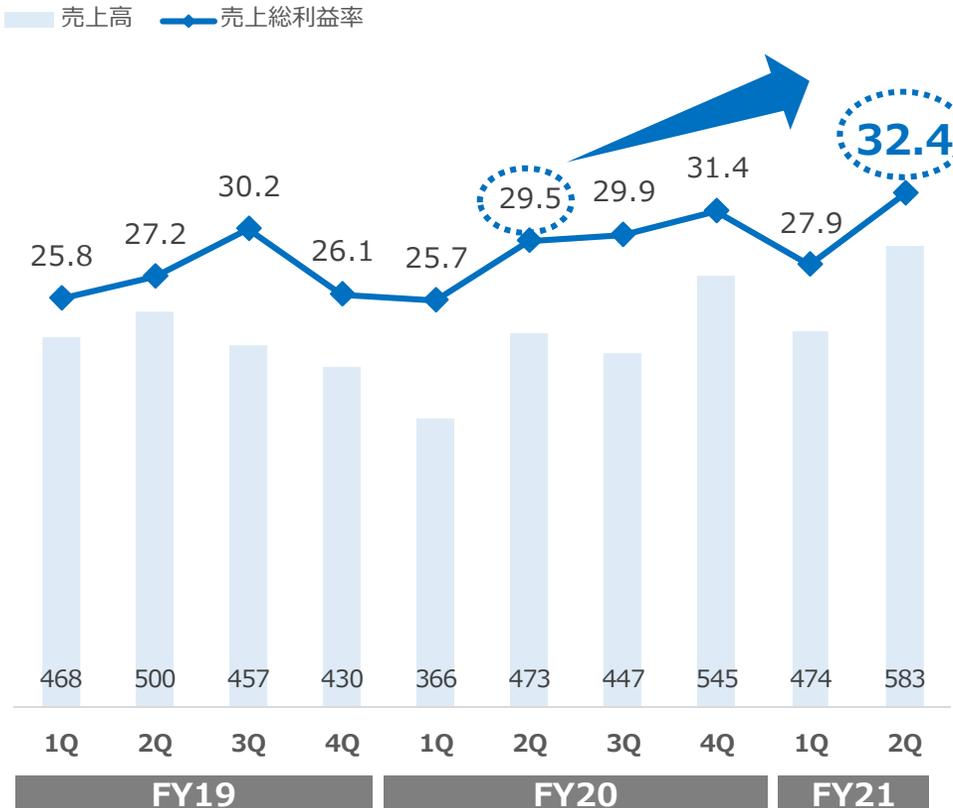
FPD：前年同期比**1.4倍**

- **LCD投資活発化**
- 来年度以降も、**ITパネル向け投資・OLED化投資（大型基板）の継続、EVバッテリー投資（23年度以降本格化）**を見込む

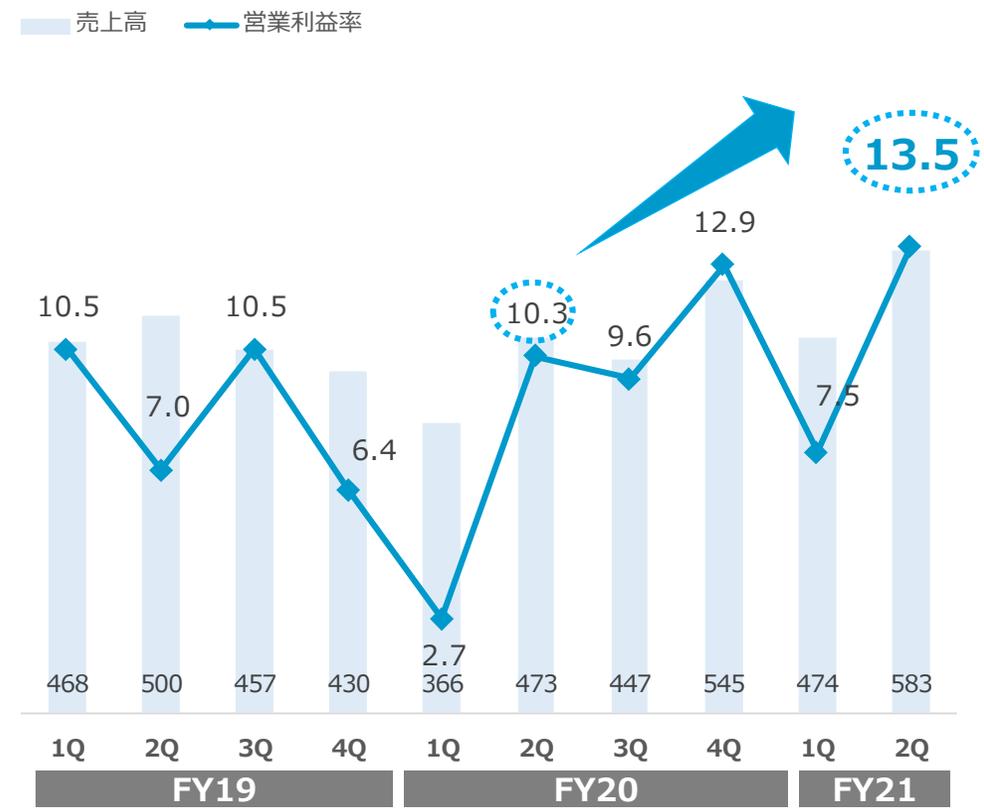
# 3-(1) 第2四半期利益率：売上総利益率は上場来最高水準

- 売上総利益率：32.4% 上場来最高水準
- 営業利益率：13.5% 前年同期比大幅改善

売上総利益率 【単位：億円、%】



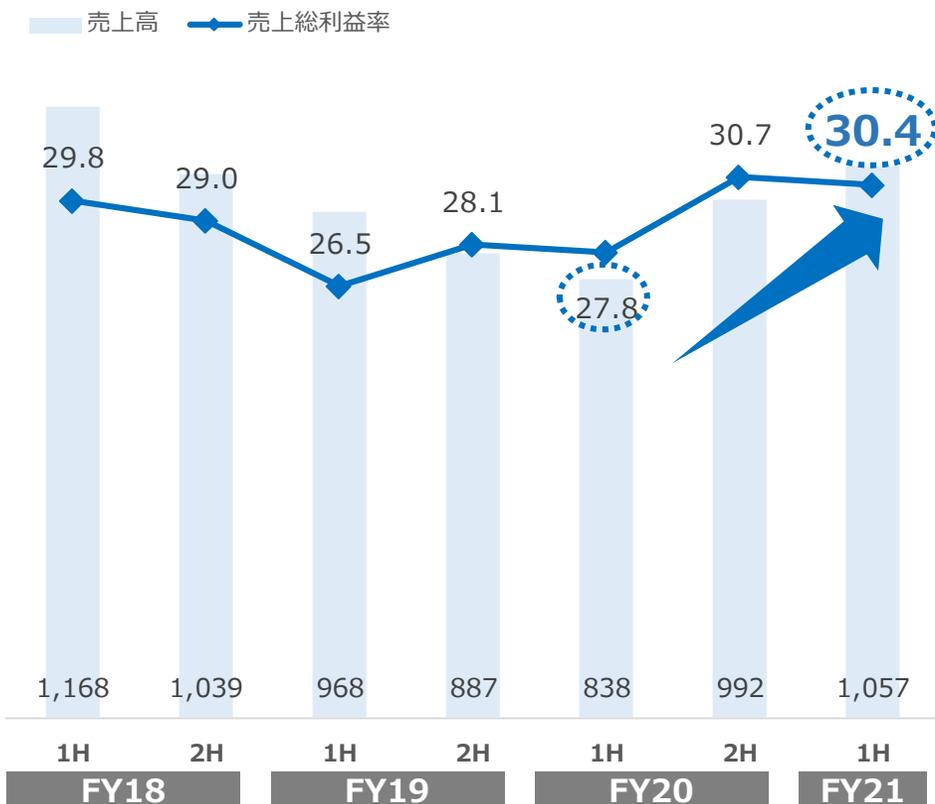
営業利益率 【単位：億円、%】



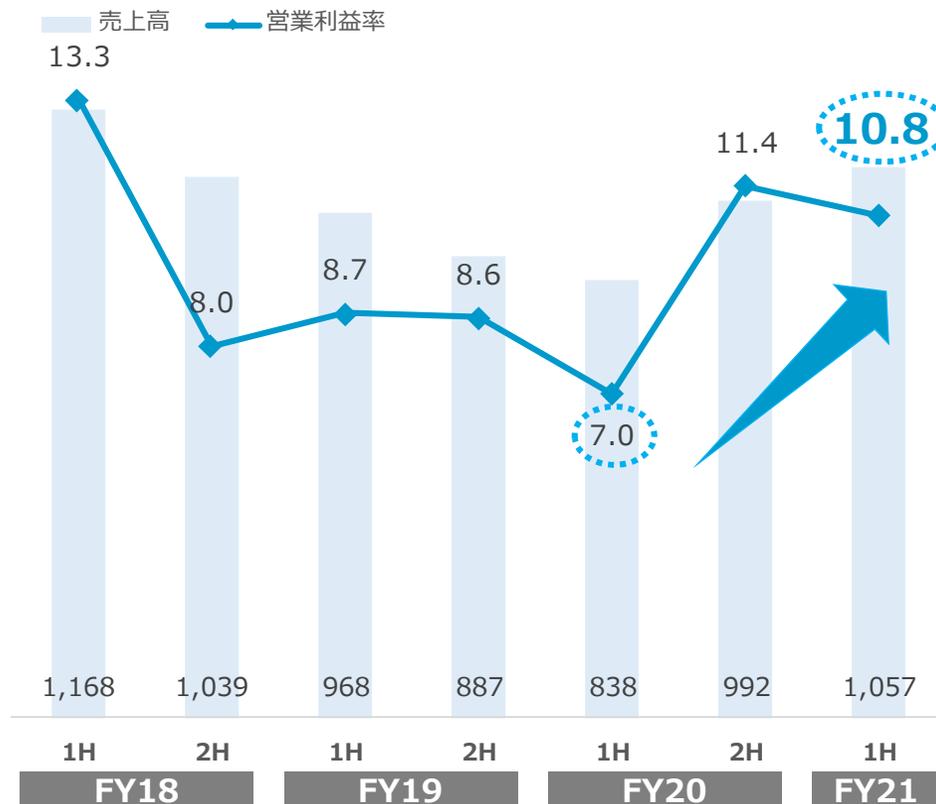
# 3-(2) 上期利益率：前年同期比改善

- 売上総利益率・営業利益率とも改善
- 下期利益率はモノづくり力強化により更に改善見込み

## 売上総利益率 【単位：億円、%】



## 営業利益率 【単位：億円、%】





# アルバックを取り巻く環境



## 中長期的に投資拡大継続

スマート社会化・デジタル化進展

技術革新投資



メタバース



グリーンエネルギー化

増産投資

地域サプライチェーン構築（各国補助）

# 1-(1) 半導体：ロジック参入でビジネスチャンス拡大

- ロジック：メタル・ハード・マスク（MHM）工程参入でビジネスチャンス拡大
- **ロジックとメモリの両輪で成長実現**
- **ロジック市場の伸びを上回る成長（MHM・他工程）**

## ロジック参入でビジネスチャンス拡大

■ Logic ■ NAND ■ DRAM [k/month]

### 半導体生産能力

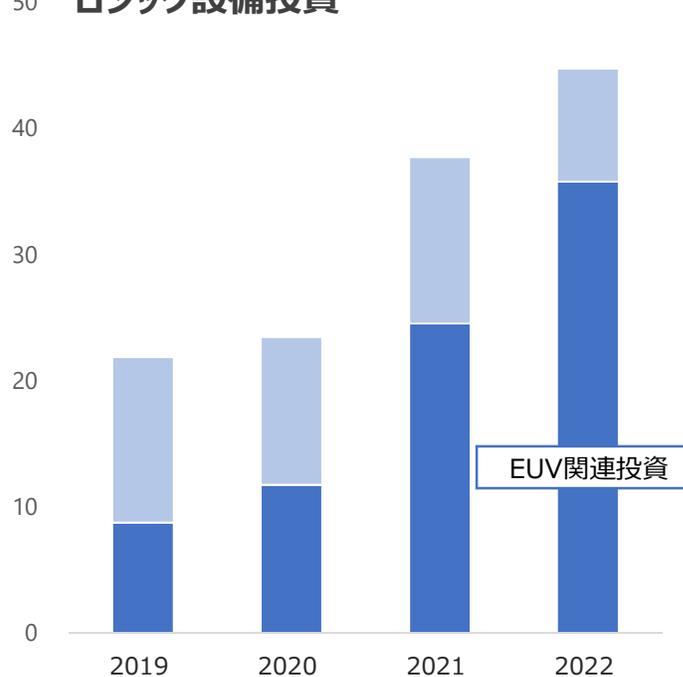


出所：SEMI等をもとに当社予測

## EUV関連投資拡大：8割

■ EUV関連投資 ■ 汎用ロジック投資 【単位：bnUS\$】

### ロジック設備投資



出所：SEMI,各社投資計画等をもとに当社予測

## ロジック・ファウンドリー投資

- ロジック・ファウンドリー、メモリともに微細化・積層化など技術革新を伴う生産能力増強積極化
- **EUVのMHM工程でデファクトスタンダード**  
⇒他工程でもビジネスチャンス拡大（セカンドベンダー期待大）

## EUV関連投資拡大・市場を上回る成長

- ロジック・ファウンドリーメーカーの**最先端投資はEUV関連（ロジック投資の約8割）**
- **ロジック設備投資増（19年比21年1.7倍）に対し受注は2.8倍と市場の伸びを大きく上回る成長**  
⇒MHM設備投資増・新規取引開拓・他工程参入で市場を上回る成長を目指す

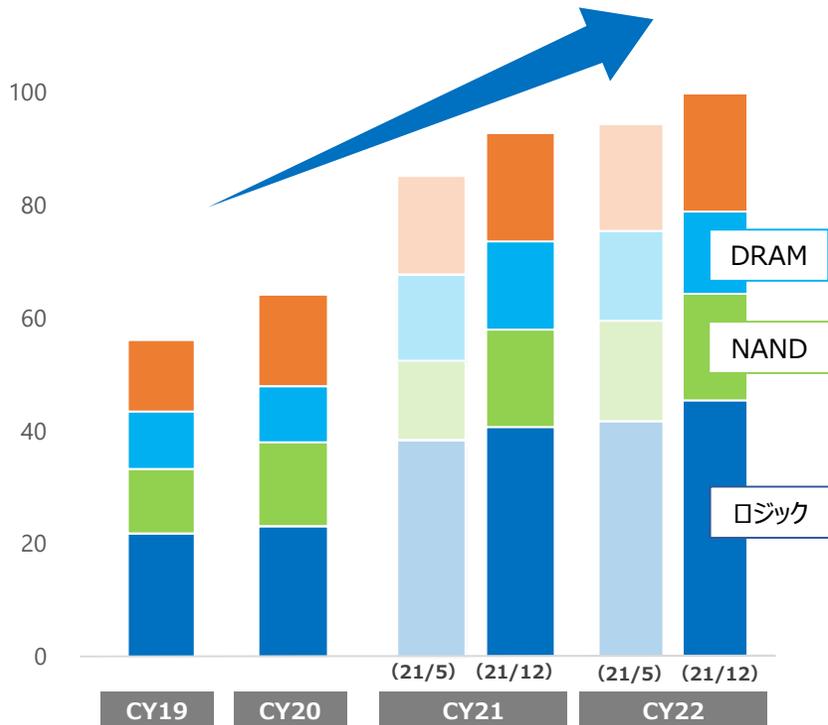
# 1-(2) 半導体：市場を上回る成長

- ロジック、メモリともに設備投資拡大継続
- ロジック MHM工程増加 + 他工程増加で市場を上回る成長

## 半導体設備投資予測

【単位：bnUS\$】

■ ロジック ■ NAND ■ DRAM ■ 他

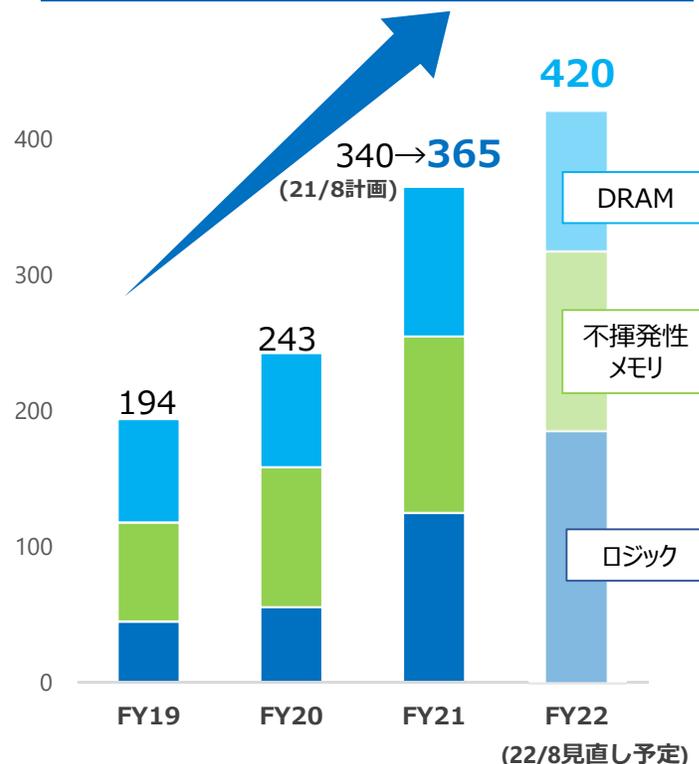


出所：SEMI

## 受注計画

【単位：億円】

■ ロジック ■ 不揮発性メモリ ■ DRAM



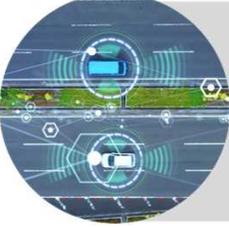
## 投資動向

- 5G、IoT、AI、メタバースなどアプリケーションのすそ野拡大・高機能化  
データトラフィック増に伴うデータセンター投資  
⇒半導体投資は中長期的に拡大基調
- 22年度も設備投資拡大

## 受注動向

- 上期：ロジック（前年同期比1.9倍）、メモリ（前年同期比1.6倍）ともに増加
- 下期：上期並みの高水準受注を見込み、通期では計画を上回る365億円（前年同期比1.5倍）見込み
- ロジック関連中心に成長を見込む

# 2-(1) 電子：多様な電子デバイス分野・アプリケーション向け装置ラインアップ **ULVAC**

	最終用途	デバイス
 <p><b>パワーデバイス</b></p>	EV車載デバイス インバータモータ 産業用ロボット 省電力機器  	IGBT SiC ダイオード MOSFET
 <p><b>オプトデバイス</b></p>	AR/VR 車載用インパネ 3Dセンサー  	$\mu$ OLED 反射防止膜 バンドパスフィルター
 <p><b>通信デバイス</b></p>	スマートフォン 無線基地局  	SAW・BAWフィルター RFデバイス
 <p><b>実装</b></p>	PC スマートフォン データサーバ IoTデバイス  	FanOut WLP・PLP Info-package
 <p><b>電子部品 (MEMS)</b></p>	指紋認証 LiDAR  	Piezo-MEMS



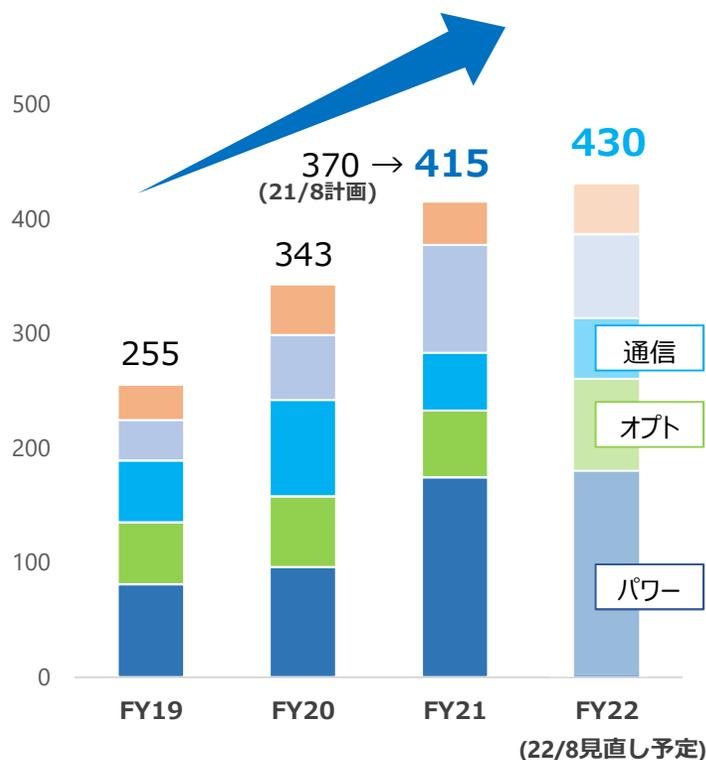
## 2-(2) 電子：中国中心に日本・台湾等で成長

- パワーデバイス、オプトデバイス、通信デバイス等の投資が日本・中国を中心に活発化
- 特に中国は政府の国産化方針もあり、パワーデバイス中心に投資活発化

### 受注計画（分野別）

【単位：億円】

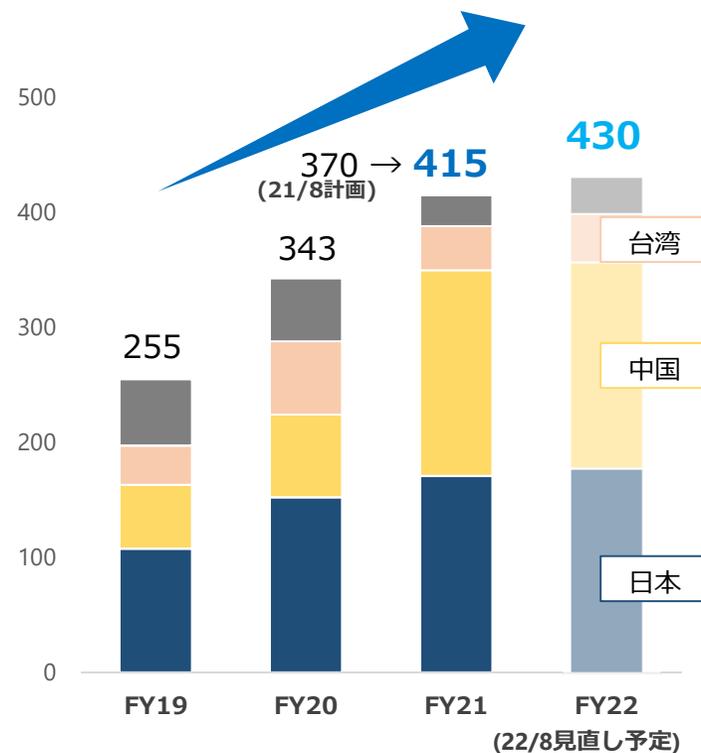
- パワーデバイス
- オプトデバイス
- 通信デバイス
- 電子部品（MEMS）
- パッケージング



### 受注計画（地域別）

【単位：億円】

- その他
- 台湾
- 中国
- 日本



### 投資動向

- 新エネルギーシフト（グリーン化）、デジタルインフラ建設、メタバースなどの新しいアプリケーション拡大に伴い、各種デバイスの技術革新進展・需要増加  
⇒設備投資活発化
- 中国国産化政策、地方政府支援で新規参入増加  
⇒沿海部中心に電子デバイス工場建設増加

### 受注動向

- 上期：パワーデバイス・通信デバイス・センサ等中心に増加
- 下期：パワーデバイス・オプトデバイス等を中心に高水準
- 通期：計画を上回る415億円（前年同期比1.2倍）を見込む
- 引き続きパワーデバイス、オプトデバイス（AR・VR向けμOLED等）、通信デバイス（SAW/BAWフィルター）等の投資活発化に対応して成長

## 2-(3) 電子成長要因：パワーデバイスはグリーンエネルギー化・EV化で成長

- グリーンエネルギー化・EV化進展等に伴いパワーデバイスが成長エンジンに（上期受注：前年同期比1.4倍）

### 市場環境

### アルバックの強み

#### IGBT

高電圧・大電流

- EV化に伴うパワーデバイス搭載数増加
- 日系主要各社による積極投資

- 裏面電極用スパッタ装置で高いシェア
- 日系主要各社との豊富な実績

#### SiC

高電圧・大電流

- 【中国】
- グリーンエネルギー投資加速
- 国産化方針・地方政府支援
- SiCウェハー生産増強

- 【中国】
- SiC用イオン注入装置シェア7割以上
- 10年前から中国企業の量産化サポート
- エンジニア派遣常駐による技術営業力

#### Si-MOSFET

低電圧・低電流

- 【中国】
- 家電製品等のインバーター化
- 国産化方針・地方政府支援
- Low～Midエンド機器の需要旺盛

- 【中国】
- 現地生産による価格競争力
- 現地設計によるカスタマイズ対応
- サプライチェーン体制構築

### 電子デバイス需要増加・輸入依存

- ・パワーデバイス
- ・高周波デバイス



### 中国国産化方針

- ・サプライチェーンの安定化
- ・貿易収支改善

地方政府支援（各種優遇・支援）

### 新エネルギーシフト（グリーン化）

- ・再生可能エネルギーシフト
- ・新エネルギー車増加
- ・LiB生産量増加

### デジタルインフラ建設

- ・5G基地局
- ・データセンター

### 沿海部を中心に電子デバイス工場建設増加



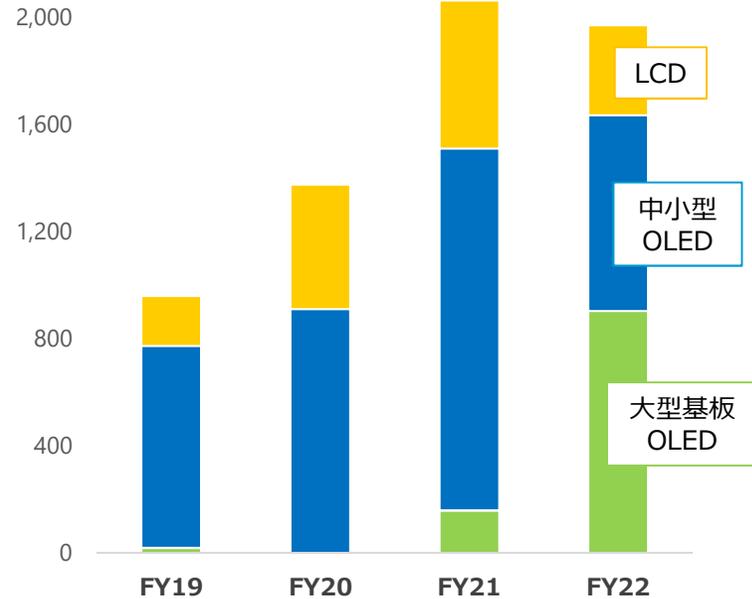
# 3. FPD : 上期受注増加、中長期的にはOLED化・バッテリー関連が牽引

- 上期 : ITパネル向けLCD投資活発化。LCD・OLEDともに受注大幅増
- OLED化進展 (モバイル+ITパネル+TV) ⇒22年度以降大型基板 (G8.5) OLED投資活発化
- 23年度以降EVバッテリー向け巻取式蒸着装置も寄与

## FPD設備投資動向 (蒸着・スパッタ)

【単位：億円】

■ OLED大型 ■ OLED小型 ■ LCD

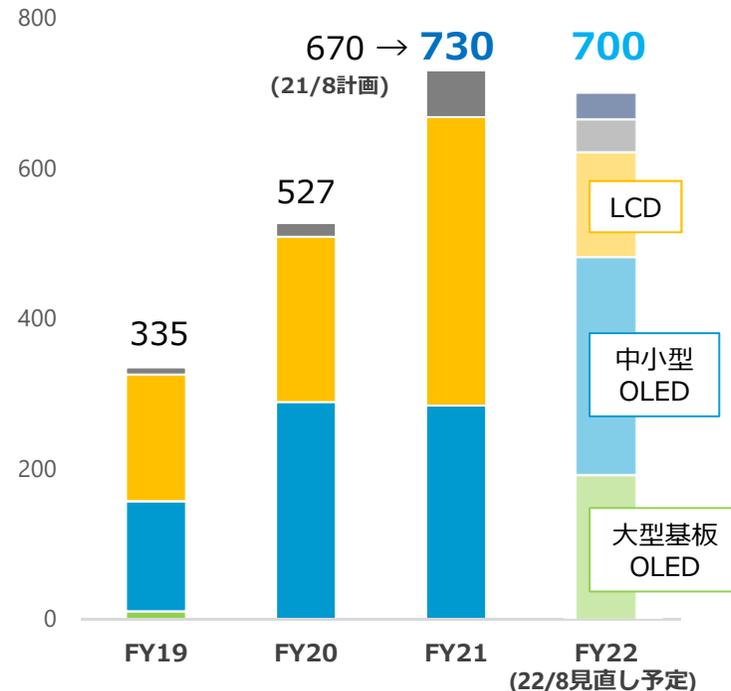


出所：当社予測

## 受注計画

【単位：億円】

■ 大型基板OLED ■ 中小型OLED ■ LCD  
■ キャパシタ・バッテリー ■ その他



## 投資動向

- ITパネル向け (タブレット・PC・医療用・車載用・ゲーム用など) の高精細・広視野角LCD投資活発化
- OLED化進展 (モバイル+ITパネル+TV)
- EVバッテリーの小型大容量化・安全性向上に向けた巻取式蒸着装置開発

## 受注動向

- LCD・OLEDの前倒し発注増加(約200億円)、通期受注計画も60億円増加
- 22年度以降も、OLED化進展、EVバッテリービジネス等により700億円前後をベースとして見込む
- 大型基板OLEDは、大型基板スパッタリング装置や搬送技術、高精細対応での強みを活かす

### コンポーネント

(上期：前年同期比**1.3倍**)

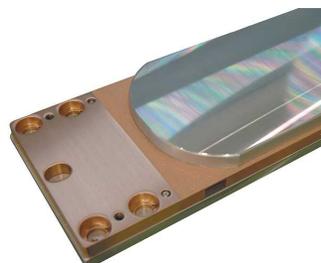


リークディテクター

- 半導体電子・FPD・民生機器関連の投資活発化により、受注好調
- 空調部品等の製品検査に使用されるリークディテクター（HELIOTシリーズ）好調
- 部品長納期化による受注前倒しも一部あり
- クライオポンプはOLED向けに加え、半導体・電子関連も堅調

### マテリアル

(前年同期比**1.4倍**)



FPD製造装置向け  
スパッタリングターゲット

- 半導体電子・FPD関連の装置稼働率上昇により、受注好調
- LCDパネルの高精細化（IGZO）、半導体電子の焼結ターゲット（W, WSi等）、メタルターゲット（Al, Ti）等を拡販

### カスタマーサポート

(前年同期比**1.2倍**)



- 半導体電子・FPD関連の投資活発化・装置稼働率上昇に伴い、受注好調
- EV化加速により、車載キャパシタ関連も受注好調
- 高付加価値パネル化CIPビジネス拡大
- OLED用クライオポンプのオーバーホールビジネス拡大



# 中期経営計画の進捗

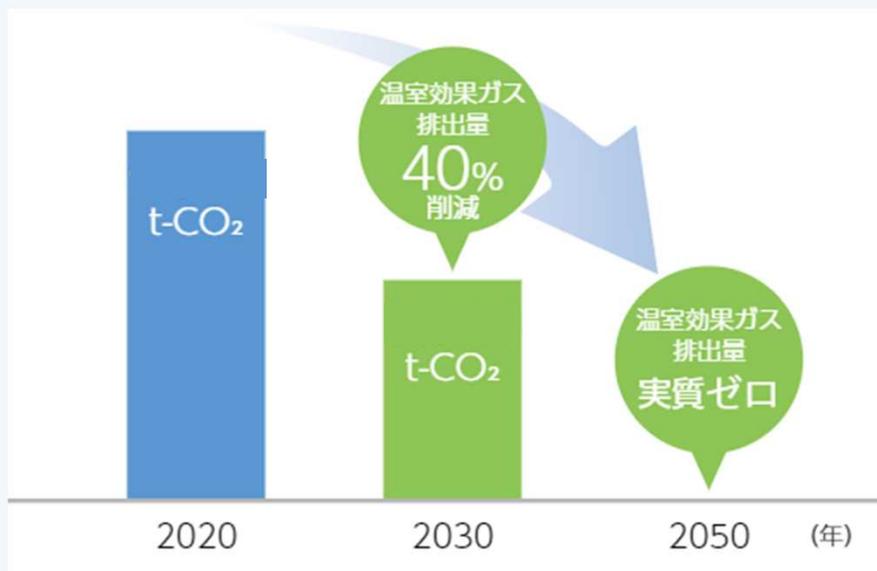
	中期経営計画の取り組み（計画）		成果・進捗評価	
成長事業の強化 研究開発力強化	半導体	ロジックの微細化工程新規参入 メモリ投資再開・新工程参入	ロジック・メモリ投資活発化⇒受注計画超過 MHM工程+他工程開発で成長	
	電子	モジュール化による提案装置拡大 中国での開発・営業・サポート体制強化	パワー・オプト・通信デバイス等の投資活発化 ⇒日本・中国を中心に受注計画超過 モジュール化「uGmniシリーズ」で提案装置拡大 中国営業・技術サポート体制強化で受注計画超過	
	FPD	大型基板OLED量産開発 利益体質に転換	LCD投資継続・OLED化で受注計画超過 モノづくり力強化・利益率改善を着実に実施	
モノづくり力強化	技術設計・調達・生産一体改革 ⇒生産性向上⇒利益率改善		各種施策を着実に実施⇒利益率も着実に改善 第2四半期売上総利益率は上場来最高水準に	
グループ経営効率強化	ビジネスユニット経営推進 自社製品を持つグループ会社の経営強化		韓国グループ会社統合 国内製造子会社2社の吸収合併決定 各社にて経営改革を推進	
経営基盤強化	人財育成・活性化		新人事制度導入・次世代リーダー育成	
	情報システム基盤強化		生産性向上に向けた各種システム整備を着実に実施	
	財務基盤強化		自己資本比率：56.1%	

## 環境目標の改定

国内外における省エネルギーに対する取り組み努力と、温室効果ガス排出量の少ない再生可能エネルギーの導入、環境配慮型製品の開発等あらゆる活動を通じて、温室効果ガス排出量抑制に努め、気候変動対策に取り組んでいきます。

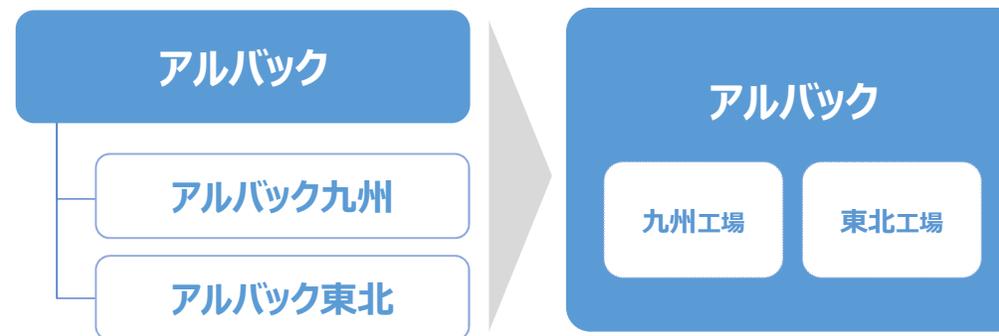
### 「温室効果ガス排出量目標」

- ① 2030年の温室効果ガス排出量を2020年比40%削減
- ② 2050年の温室効果ガス排出量実質ゼロ



## 完全子会社の合併

「モノづくり力強化」加速のため、国内主要製造子会社2社を吸収合併し、多種多様な製品生産技術を取り込み、生産性と利益率のより一層の向上を目指します。本合併は2022年7月に予定しています。



## Value Report 2021発行

- サステナブル経営に関する開示を強化
- 人権・気候変動に関する取り組み
- 社外取締役の視点からみた当社価値創造



スマート社会・  
デジタル社会実現



グリーンエネルギー化  
低消費電力化

社会的課題解決

メモリ	ロジック IC	センサー	通信デバイス	バッテリー
微細化		高性能化		低消費電力化

スパッタリング	真空薄膜形成技術	コンポーネント
エッチング		マテリアル
真空蒸着		CVD



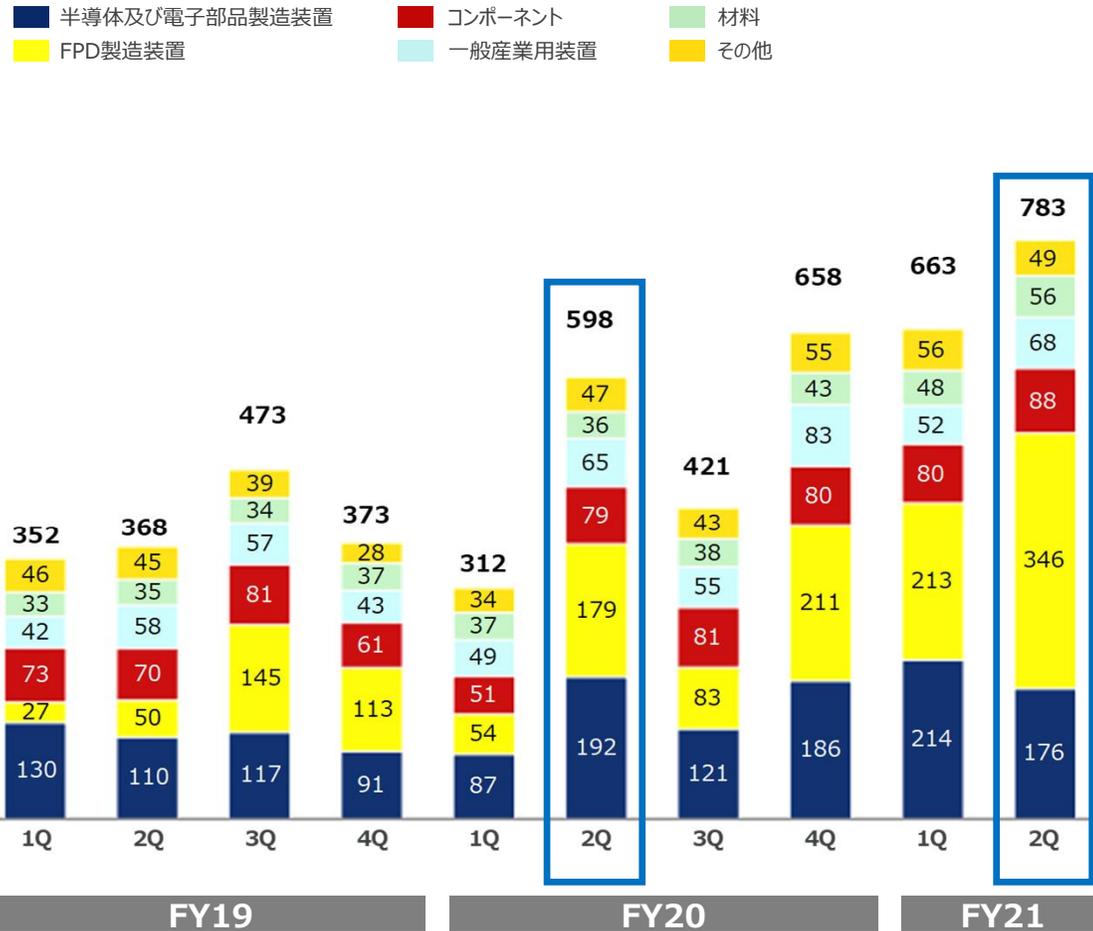
# 補足資料

【単位：億円】

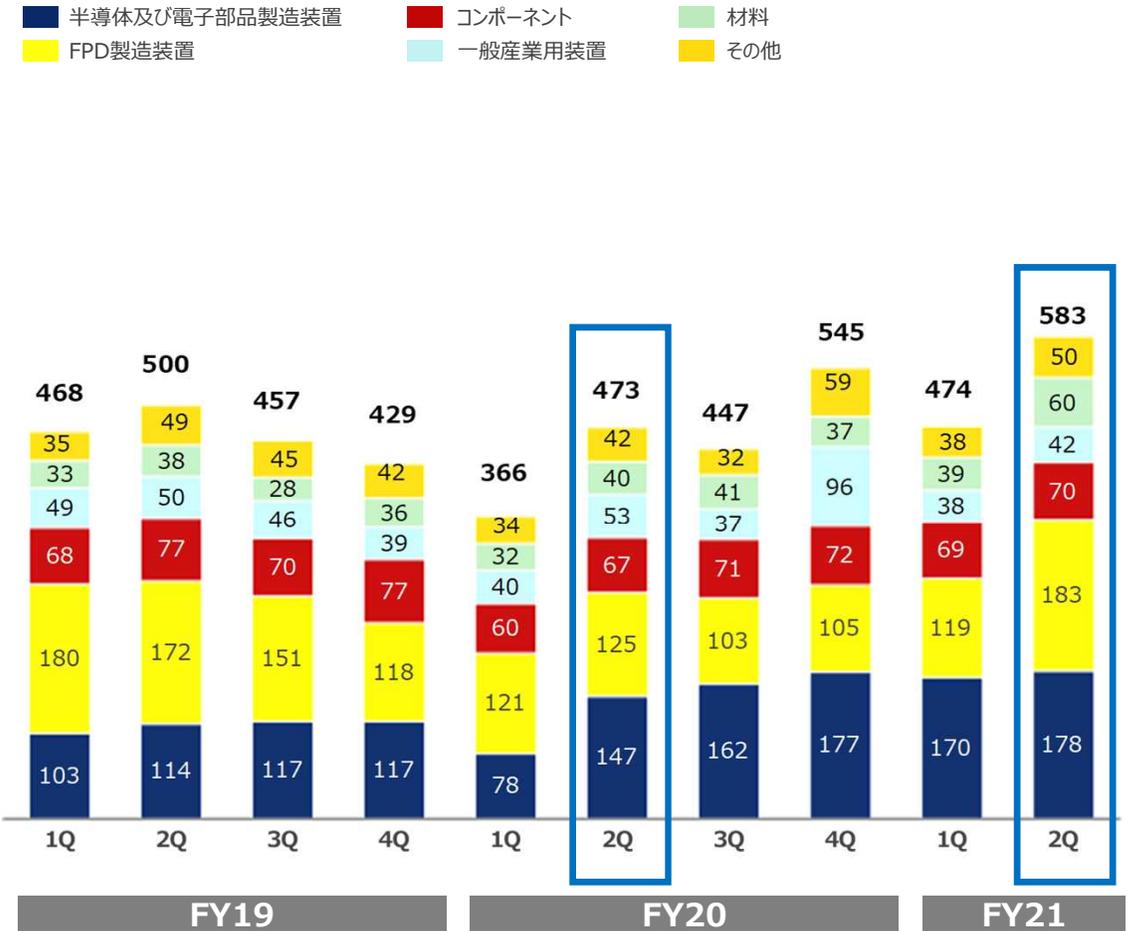
	2020年度				2021年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	前年同期比	
							増減額	増減率
受注高	312	598	421	658	663	783	+185	+31%
売上高	366	473	447	545	474	583	+110	+23%
売上総利益	94	139	134	171	132	189	+50	+36%
率	25.7%	29.5%	29.9%	31.4%	27.9%	32.4%	-	+3.0pt
販管費	84	91	90	101	97	110	+20	+22%
営業利益	10	49	43	70	36	78	+30	+61%
率	2.7%	10.3%	9.6%	12.9%	7.5%	13.5%	-	+3.2pt
経常利益	10	50	41	78	35	85	+35	+70%
率	2.8%	10.6%	9.2%	14.4%	7.4%	14.6%	-	+4.1pt
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3	42	37	66	22	59	+17	+40%
率	0.9%	8.9%	8.3%	6.7%	4.7%	10.1%	-	+1.2pt

# 品目別受注高・売上高推移（四半期）

## 受注高 【単位：億円】

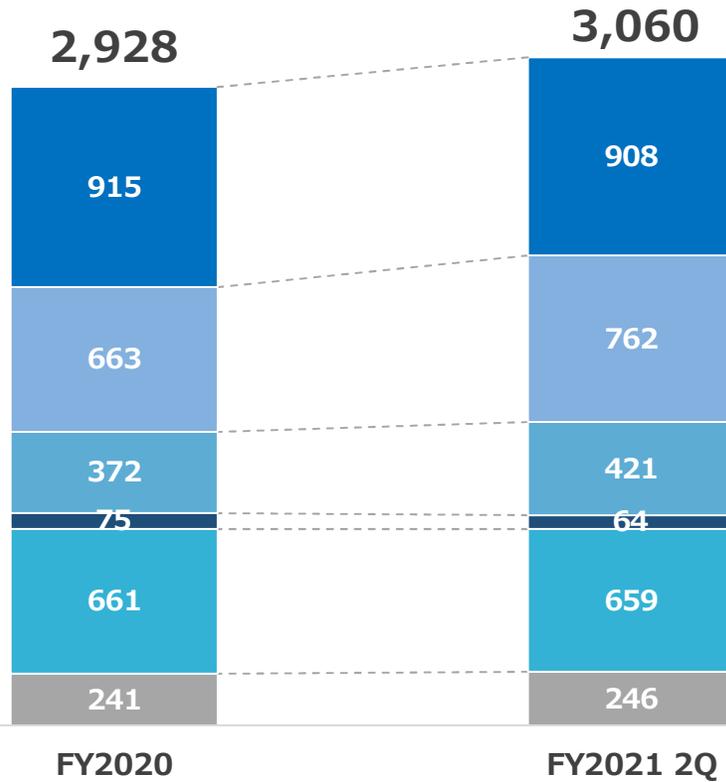


## 売上高 【単位：億円】



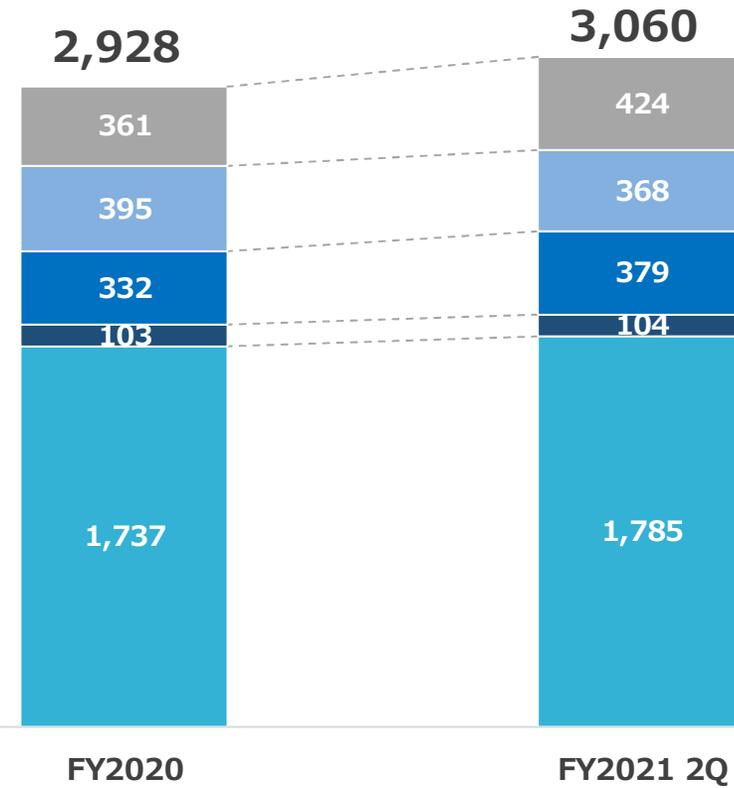
## 資産 【単位：億円】

- 投資有価証券 他 ■ 有形固定資産 ■ その他の流動資産
- 棚卸資産 ■ 受取手形・売掛金 ■ 現金・預金



## 負債・純資産 【単位：億円】

- 純資産 ■ その他固定負債 ■ その他流動負債
- 有利子負債 ■ 支払手形・買掛金



# さまざまな業界・用途で貢献する アルバックの真空技術



ULVAC